

言葉で感じる季節

雲の峰
くものみね



普段「入道雲」と呼んでいる雲は「雲の峰」とも言います。

延々と連なる峰など、いつも灼けつくような天にそびえ立つ様々な姿を空から見せてくれる雲の峰。

これからの時季、空に目をやると雄大な空模様様に夏を感じます。

これから天に向かって伸び立つ葱たちの未来、雲の峰との景色の相性は良いだろうと、夏の楽しみです。

台風対策、会社一丸となり
対策を進めています。
畑だけの問題ではなく、
工場との連携が不可欠。
毎年訪れる試練ですが、
しっかりと乗り越えています。

7月に入ると気温も30度、35度と日増しに上昇。毎年のことですが、さすがの農人たちも夏の暑さに体が慣れるまでは終日外での作業は厳しい。自己管理もしっかり行っています！

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

ことねぎだより

NO.158

2020年7月号
TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社

今月の

ことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語(事)を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

お待たせしました、春から大切に育てた夏葱のお届け

今月からお届けするのは、美山・亀岡で育った夏葱たちです。

夏場の京都市内は、盆地ということもあり暑さが厳しく、ねぎや農人にとって良い環境

とは言えません。同じ京都でも北部に位置する亀岡・美山は、気候も少し和らぎ、害虫も少ないので品質の良いねぎをお届けすることができます。

ちょうど桜がキレイな頃に作付けされたもので、1年の中で最も適温で育った元気いっぱいの夏葱のお届け開始です。



夏葱

農人たちの畑での作業の様子、THE 農業!の現場の「こと」を発信

葉面散布の作業

作物の出来は土作りで決まるものですが、近年の厳しい天候では、どれだけ土作りを行っても安定して作物に栄養を吸収させることが難しい



状況です。この「葉面散布」というのは、直接養液をかけることにより、葉・茎・根すべてから養分を吸収することができます。また、即効性のため、あらゆるポイントで生育をサポートできます。

夏の産地である亀岡地域では、1ヶ月後に収穫を控えたねぎたちに葉面散布を行っています。生育が鈍っていたり葉色が悪いものに対して行うことにより、生育を促進することができます。



農人たちがしっかりと手をかけ育てた美味しいねぎをお届けしています。

今年の台風対策と準備



7月に入ると、私たちにとっての天

敵とも言える台風襲来シーズンに。これまで、何度も畑のねぎがなぎ倒された台風ですが、今年のこと京都の農人たちには、期待値大の作戦があります。今年、静岡に新しく工場ができたということもあり、ねぎを保有できる量が大幅に増加しました。そこで、台風襲来前に農人総出で畑にあるねぎを一気に収穫してしまい保冷保管しようという作戦。一日最大で10トン以上収穫する必要があるため、収穫班を中心に作戦会議を繰り返し、シミュレーションを行っています。今までの悔しい経験を糧に、しっかりと備えて克服していきたいと思っ